



▲3月4日に開催された郡上藩江戸蔵屋敷のキックオフイベント
であいさつをする日置市長



▲キックオフイベントで郡上ジビエの調理実習を楽しむ参加者



▲郡上の昔の暮らしを知る山村生産用具も展示

郡上フリーク（郡上に熱中する人）、そして郡上に関わる新たなプレイヤー（行動する人）になつていく可能性もあります。浅く広く郡上を知っている人」を増やすのではなく、数は少なくても、「郡上に深く関わりいっしょに郡上をつくる人材」を育てること、移住・定住の新しい流れをつくることもめざしていきます。郡上の人や暮らし、自然や多様な文化などをテーマに、市内で活動する様々な分野の団体等に関わっていただきながら「情報発信十学びの場」を提供する「郡上藩江戸蔵屋敷」に、ぜひ注目ください。

郡上の本質的な価値磨き が持つ大きな可能性

郡上藩江戸蔵屋敷を平成29年度から本格的に事業開始するにあたり、平成29年3月4日に東京都港区北青山のイベント会場で、「郡上の食と狩猟文化」をテーマにしたキックオフイベント（事業開始にあたって試行的に実施したもの）を開催しました。当日は20代から30代の一般参加者のほか、郡上市と交流のある港区青山の関係者ら約60人が参加。トークショーやジビエの調理実習を楽しみました。参加した30代の女性は「狩猟に興

持続可能で元気な郡上市をつくるための広い意味での「観光」を進めることにより、内外の人がともに幸せを感じられる地域を目指します。



味があつて参加したが、郡上市の魅力にひかれた。次回も参加したい。」と感想を話していました。郡上市の本質的な価値を磨く

「郡上藩江戸蔵屋敷」は、都会で暮らす人々の生き方、暮らし方の見つけ直し、再発見にもつながると期待しています。観光立市郡上、郡上藩江戸蔵

屋敷に対するご意見、ご感想がありましたら、市長公室企画課観光立市郡上担当までお寄せください。
67・1831

郡上藩江戸蔵屋敷の年間スケジュール

第1回 踊り下駄をつくり 郡上おどりを楽しむ

- <下駄づくり>
- ・日付：H29.6.11
 - ・場所：東京都港区
- <踊り体験>
- ・日時：H29.6.24
 - ・場所：東京都港区



第2回 神が宿る里石徹白の 暮らしを学ぶ

- ・日付：H29.7.22
 - ・場所：東京都港区
- 「持続可能な農村」と、歴史や文化を大切にする農山村の暮らしを学びます。



- ### 第3回 現地フィールドワーク
- ・日付：H29.9.8～10
 - ・場所：白鳥町石徹白・明宝寒水

- ### 第4回 清流長良川の恵み
- ・日付：H29.11中旬
 - ・場所：東京都港区（予定）

- ### 第5回 郡上の魅力を活かす
- ・日付：H30.2上旬
 - ・場所：東京都港区（予定）

観光立市郡上がめざす 持続可能な地域社会

「郡上藩江戸蔵屋敷事業」など新しい取り組みを展開していきます

郡上市では、元気あふれる持続的な地域社会をつくるため、平成29年度から「観光立市郡上」の旗印を掲げ、分野を横断した取り組みを推進することとしました。本市がめざす観光立市は、一般的にいう観光関連産業だけではなく、福祉や農林業、教育など様々な分野にわたって「郡上の宝（光）を磨き、郡上の光を内外に観（しめ）す」という考え方のもと、市民の皆さんの総力を結集した取り組みを実践していくというものです。今月号では、観光立市郡上の具体像とともに、観光立市郡上を具現化する平成29年度の新規事業「郡上藩江戸蔵屋敷」の概要をみなさんにお伝えします。

観光立市郡上は内外の人が 幸せを感じるための旗印

私たちの郡上市には、日々の暮らしの中では「当たり前」と思っている、見かたを変えたり、また市外の人から見ると「宝」と言える貴重な資源がたくさんあります。郡上おどりや白鳥おどり、拝殿踊りといった伝統芸能はもちろんのこと、清流長良川の恵みや城下町の古い町並み、山里の暮らし、美味しい農林水産物、郷土料理、伝統工芸品や先進技術の工業製品など数多くの宝ものが市内のいたるところに存在しています。

こうした宝ものを、市民のみなさん自らの手で磨き上げ、それを内外に向けて観（しめ）すことで、地域全体が豊かになっていくと考えています。本市が掲げる観光は、郡上市に暮らす人、また郡上市を訪れる人を含め、ともに幸せを感じ、幸せに生きていくための手段とも言えます。

今年度から観光立市 郡上推進本部を立ち上げ

市では、市民のみなさんが郷土に誇りと愛着を持ち、持続可能な地域社会を築くため庁内における推進組織として、副市長

を本部長とする「観光立市郡上推進本部」を今年度から立ち上げました。市民のみなさんが、それぞれの立場で「観光立市郡上」に関心を持ち、参画されることを期待しています。

郡上の宝物を発信する 「郡上藩江戸蔵屋敷」事業

観光立市郡上は、様々な分野にわたる事業になりますが、今年度、市長公室企画課が取り組む新規事業として、「郡上藩江戸蔵屋敷」があります。「郡上藩江戸蔵屋敷」は、郡上の資源や価値をより多くの人に伝えることで、郡上に関わっていただく人を増やし、郡上市の資源を生かしていただく人を育てる取り組みです。江戸時代に置かれていた蔵屋敷は、一般的には形のあるものを蓄えておく蔵ですが、「郡上藩江戸蔵屋敷」には、郡上の宝を発信する場として情報と魅力を詰め込みました。郡上市と歴史的なつながりが深い東京都港区青山を中心に郡上市の「宝もの」を届ける事業として展開し、また、一方的に届けるだけではなく、双方の交流や学びを通して、都会に暮らしながらも「郡上市に想いを寄せる」コアな郡上ファンを増やしていくことも目的にしています。

郡上に深く関わり資源を 生かす人材を育てる

「郡上藩江戸蔵屋敷」は、連続講座の形式をとり、平成29年度は5回シリーズで開催します。講師は各分野で活躍される市民のみなさんです。連続講座として行うことにより、参加者相互の関係が強まるだけでなく、講師として「郡上の宝もの」を届ける市民と参加者との間で、新しいコミュニティが生まれることも期待しています。さらに、参加者が郡上ファンから



郡上藩江戸蔵屋敷
GUJO TOKYO
郡上のタカラを東京へ

▲魅力を伝えるデザインも観光立市の大切な要素となります（郡上藩江戸蔵屋敷のロゴマーク）

白山開山一三〇〇年の意義を継承する若い力

姫神白山夢幻奏コンサートを若者の熱い想いで実践

平成29年、西暦2017年は、奈良時代の高僧・泰澄大師がそれまで神のすむ神聖な霊山として人が足を踏み入れることのなかった「白山」に初めて登頂したといわれる西暦717年（養老元年）から数えて1300年の年となります。白山開山は、悠久の歴史の中で人々の暮らしに大きな影響を与えてきました。白山信仰が育んだ自然への畏敬の心や交流文化を次世代につなげていくため、郡上市では「白山開山1300年祭」として、今年度様々な行事を開催します。ここでは、メインイベントとして7月29日（土）に長滝白山神社・長瀧寺境内で開催される「姫神白山夢幻奏コンサート」の実行委員会にスポットをあて、郡上市のこれからの地域づくりのあり方を考えてみました。

コンサートの実行委員会に若者が名乗り

郡上市では、白山開山1300年を迎えるにあたり、平成27

年度に白山開山1300年記念事業懇話会を4回開催し基本理念や事業方針を決めました。平成28年度からは、白山開山一三〇〇年祭推進協議会（荒井誠二会長／構成員21人／以下「推進協議会」）を組織し、メイン事業の位置付けや運営方法など話し合いを続けてきました。推進協議会としてメイン事業に姫神のコンサートが提案されたとき、平成28年度の郡上青年会議所理事長であった西脇将洋さんが、「白鳥町時代の昭和63年に、当時の白鳥町の若者が中心となって初代姫神のコンサートを長滝白山神社で開催された」と聞き、以降、平成4年、平成8年に姫神コンサートが行われ、若者が地域社会で活躍する原動力になったと知り、ぜひ自分たちでもやってみようという気持ちになりました。とコンサート開催の実働部隊に名乗りを上げられました。



西脇 将洋さん 39歳
(実行委員会委員長)

音楽を通じて白山文化を次世代に継承

西脇将洋さんは、早速郡上青年会議所と郡上市商工会青年部のメンバーに声をかけを行い、姫神白山夢幻奏コンサート実行委員会（以下「実行委員会」）を組織。自ら実行委員長になってコンサートの企画を練り始めました。岩手県を拠点に活動しているシンセサイザー奏者の姫神の星吉紀さんの「音楽を通じて白山文化を次世代に継承していきたい」との意気込みや、推進協議会、実行委員会のやる気と熱意に後押しされ、郡上市内外の企業も趣旨に賛同。寄付金や当日のボランティアスタッフとして協力をお願いすることになりました。郡上地域活性化協議会事務局の畑佐一男さんは「古典芸能とシンセサイザーが交わるコンサートであり、郡上市の歴史・文化を知ることにより郡上のす

した。実行委員会は、仕事が終わってからの開催になるため、すべて夜間に開催されます。西脇将洋さんは、昼間は山で体を使う仕事のため、クタクタになってから会議を行うことが多かったそうですが、それでも実行委員の仲間と熱い議論を重ねるうち、コンサートを何とか成功させたいという気持ちが強くなったそうです。また、このコンサートには、郡上北高校の生徒もスタッフとして参加する予定です。地域社会とつながることの大切さを教育活動の柱としている同校では、このイベントを通じて郷土愛がさらに育まれることを期待しています。

ばらしさを再確認できる意義のあるイベントだと言えます。」と話されていました。

若者の自信と力が未来の郡上を築く礎に

4月11日に開催された第7回実行委員会において、西脇将洋

さんは「子どもの数が減り地域のいろんな活動を次の時代へ継承していくことが困難な時代となってきました。こうした状況の中で、我々若者の発想や行動力がこれからはますます重要になってくると思います。地域社会にインパクトを与える存在になるため、今回のイベント運営の中心メンバーになることを決め

たわけですが、これからのいろいろな大事なことです。それ以上にコンサートまでの過程も大事です。若いみなさんの自信が



▲姫神白山夢幻奏コンサートについて話しあう
実行委員のみなさん

次の郡上市の礎になると思います。」と期待を込められました。



荒井 誠二さん 66歳
(推進協議会会長)

「姫神白山夢幻奏コンサート」の他にも、今年度多くの白山開山1300年を記念した関連イベントが開催されます。市民のみなさんぜひ関心を持ってご参加くださるようお願いいたします。

白山開山1300年祭についてのお問い合わせは、市長公室企画課（☎67・1831）へ、姫神白山夢幻奏コンサートについては、白鳥振興事務所振興課（☎82・3111）までご連絡ください。



姫神白山夢幻奏コンサート
7月29日（土）18:00～
長滝白山神社・長瀧寺境内

白山開山 1300 年祭の決起集会が開催されました

3月29日（水）に、白鳥町の白鳥ふれあい創造館において、白山開山1300年祭の決起集会が開催され、市民及び関係者約100人が参加しました。

集会ではメイン事業として開催される、姫神白山夢幻奏コンサート、第4回霊峰白山・太鼓まつりin郡上（5月28日（日）/たかす町民センター）についての紹介、太鼓まつり出演予定の高鷲太鼓保存会の演奏や、マイクラフト（コンピュータ上で、ブロックを繋ぎ合わせるゲーム）により作成された過去の白山中宮長瀧寺の境内一帯の映像が披露されました。

白山開山1300年を記念する関連イベントの成功に向け、参加者全員が気持ちをひとつにしました。



▲姫神白山夢幻奏コンサートについて実行委員長から説明がありました



▲メインイベント成功に向け、会場全体で機運を盛り上げました

「郡上」を磨き、内外に「光」を「観（しめ）」す取り組み

観光課

1 郡上市観光立市人材育成事業

「観光立市郡上」のシンボル事業として、今後の郡上市の観光を支える人づくりを進めます。スイス・ツェルマット在住で観光庁の観光カリスマにも認定されている山田桂一郎氏の講演を5月11日（木）に郡上市総合文化センターにおいて開催します。また、観光団体、市議会、市の代表者がツェルマットを訪問し、地域づくりと一体になった観光地振興策について学びます。

2 宿泊施設改修支援事業・観光振興2次交通対策事業

宿泊者をいかにして増加させるかは、郡上市の観光にとって大きな課題です。市内の宿泊施設の増改築、トイレ、浴室の改修等に対して市から最大300万円の助成金を交付し、宿泊施設のグレードアップを支援します。詳しくは観光課へお問い合わせください。

また、郡上八幡ICバス停で高速バスを利用される人のために、予約制乗合タクシーで送迎する事業を新たに開始します。

3 日本三大盆踊り共演イベント

今年は白山開山1300年の節目の年であることから、その奉祝を兼ねて日本の三大盆踊りといわれる徳島の「阿波踊り」と秋田の「西馬内盆踊り」を郡上へ招聘して「日本三大盆踊りin郡上」を開催します。期日は9月9日（土）で、会場は郡上市総合スポーツセンターです。詳しいご案内は今後、広報郡上等でお知らせします。



4 外国人観光客誘致事業

インバウンド（訪日外国人旅行）対策では、台湾に続く第二の主要マーケットとしてタイからの誘客を強化します。現地での円滑な誘客活動やPRを行う会社と業務提携を結ぶほか、タイの旅行社を郡上へ招待してPRを行うことで、旅行商品を造成し、タイからの誘客の増加を図ります。

5 郡上八幡駅観光案内所開設

郡上八幡駅は、国の有形登録文化財として昔の駅舎の復刻という形で4月に大改修を終えました。この駅を観光資源として活用し、かつ市全体の南の観光案内拠点として利用するため、4月末から駅舎の中に観光案内所を開設しています。



6 観光施設整備事業

観光施設面では、今年度、県が整備する（仮称）長良川あゆパークと併設して、道の駅白鳥を新築するほか、道の駅明宝においてもトイレ棟を全面改築します。

また、ラグビーワールドカップ2019が豊田スタジアムで開催されることから、海外ナショナルチームの合宿誘致のため、^{かます}吠高原スポーツ広場にクラブハウスを建設し、施設の機能向上を図ります。

平成29年度 商工観光部主要事業のご紹介

郡上市では、市の基本方針として「観光立市郡上」を掲げました。これは「光」を「観^{しめ}す」、すなわち郡上の資源を磨いて内外に観（しめ）すことをまちづくり全般のシンボルとして表した言葉です。この方針に従って、商工観光部では平成29年度に次のような新しい事業及び重点施策に取り組めますのでご紹介します。

新たな「産業雇用対策」の取り組み

商工課

1 （仮称）郡上市産業振興支援センター設立準備及び産業振興拠点施設建設工事

市では、郡上市の産業振興の司令塔ともいえるべき（仮称）郡上市産業振興支援センターを平成30年春に開設するための準備事業を進めてきましたが、平成29年度はその仕上げの時期になります。

このセンターは、郡上市、郡上市商工会、郡上市観光連盟、郡上市交流移住推進協議会等の団体で構成し、産業振興に関する課題や問い合わせにワンストップでお応えしながら、新たな振興策を策定し、実施していくセンターです。また、このセンターが入居する

（仮称）郡上市産業振興拠点施設も、現在の郡上市商工会館を取り壊した上で、その場所に平成30年春の竣工を目指して建設します。



2 事業所等設置奨励金交付事業

市では現在、郡上市内に事業所等を新設・増設・移設した場合、土地・建物等に課税される固定資産税相当額を3年間交付するという補助制度がありますが、平成29年度からこれに加えて、操業後初めて課税される年度の土地に係る固定資産税評価額の100分の20以内の額を1回のみ交付する補助制度を追加します。

ただし、この制度には従業員雇用や交付金の最高限度額の規定がありますので、詳しくは商工課までお問い合わせ下さい。



3 郡上市就職支援家賃助成制度

郡上市外から郡上市に転入して1年以内で、原則3年以上郡上の企業で勤務される人等を対象として、民間の住宅や部屋の賃貸料に対し、その一部（月額最大2万円）を助成する新たな制度です。年齢制限等の規定がありますので、詳しくは商工課までお問い合わせください。

4 空き店舗等活用事業

郡上市内の空き店舗等を活用した起業家への支援を目的として、建物の改修費（最大100万円）と家賃の一部（月額最大5万円）の助成を行います。

5 戦略的雇用対策事業

郡上市には、冬のスキー場、夏のアウトドア産業などで季節的に働いている人がおられますが、このようなみなさんが通年で働くことができる方法等について調査研究を行う事業です。

問 商工観光部 ☎ 67-1808